# デジタルパワーアンプ
# EM-A942D/EM-A932D/EM-A922D
## ＜多元構成時のパワーアンプの並列接続について＞

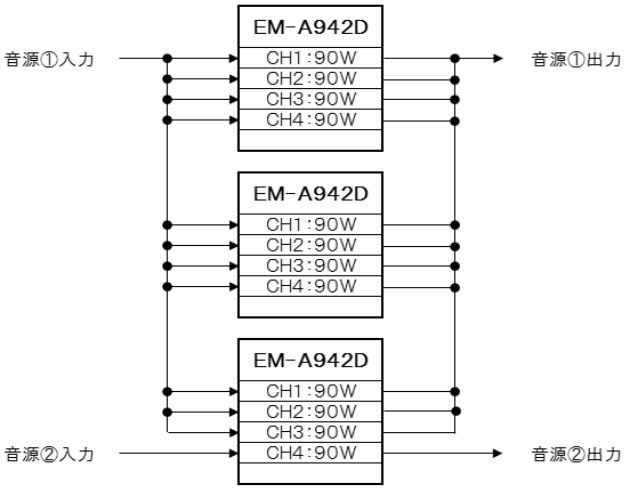
従来、「並列接続しているパワーアンプが複数出力系統を持たない」接続方法に制限していましたが、下記のような余剰チャンネルを使用したパワーアンプの並列接続が対応可能となります。

なお、今回の対応に際してハードウェア、ソフトウェアともに変更はないため、すでに出荷したデジタルパワーアンプ（EM-A942D/A932D/A922D）を用いた接続についても対応可能となります。

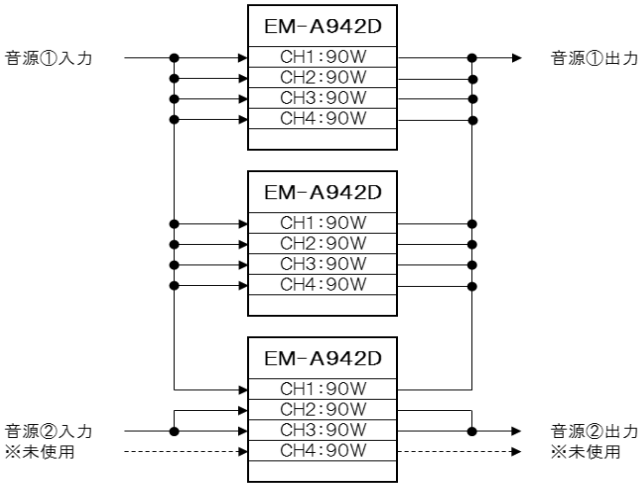
### ■ 並列接続しているパワーアンプが複数出力系統を持つ

（例）2 元構成の場合

990W+90W 接続例




810W+180W (+ 未使用 1 チャンネル ) 接続例




- EM-A942D/A932D/A922D すべてのデジタルパワーアンプにて対応可能となります。
- 複数のパワーアンプを並列接続しているとき、並列接続に使用していないチャンネル（余剰チャンネル）を下記のように使用することができます。
  - 同一パワーアンプ内で並列接続をする
  - 並列接続をしないで分割（単独）接続をする
  - 従来どおり未接続にする

**ご注意**

- 本接続を実施する場合は、必ず並列接続しているすべてのパワーアンプ間に順送りで CN-C7 を接続してください。接続しない場合は、異常発生時に保護回路が正しく動作しないため、故障の原因となります。
- パワーアンプを並列接続する場合は CN-C7 の接続が必要となるため、1 台のパワーアンプが異常検出などで停止すると CN-C7 で接続されたすべてのパワーアンプが停止します。異常発生時に、他の元の放送を停止させたくない場合は、従来どおり「並列接続しているパワーアンプが複数出力系統を持たない」接続でお使いください。

  ※ 従来の接続については、EM-A942D/A932D/A922D 「取扱説明書（P.11）」、EM-1500 シリーズ 「設置説明書（工事編）（P.99）」の「多元構成時の並列接続について」をご覧ください。
- EM-A842D/A822D は従来どおりパワーアンプ間を並列接続できません。

© 2016 JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation